

【長崎県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
雲仙市	山田原	「雲仙ブロッコリー」の導入と氷詰め出荷による販路拡大	1	H28.06	1
諫早市	飯盛	「いさはやポテト元気くん」の産地強化と低コスト化の推進	2	H28.12	2
諫早市	小豆崎	耕作放棄地の解消による農業生産団地の急成長	3	H30.03	4
島原市	三会原	根菜類一大産地の更なる発展と将来の地域担い手育成	4	H31.03	5
雲仙市	八斗木	基盤整備を契機とした高収益作物の生産拡大と地域児童数の増加	5	H31.03	5
島原市	宇土山	『逆境(条件不利地域)』を乗り越え甦った農地と地域活力の再生	6	R元.12	6
壱岐市	刈田院	ほ場整備で地域に元気を！そして「しま」の農業を守る！	7	R3.03	7
雲仙市	山田原第2	基盤整備の進展と共にブロッコリーの規模拡大・高品質化を実現	8	R4.03	8
佐世保市	針陽	マルドリ方式による温州みかんのブランド産地化に向けた取組	9	R5.03	9

【工夫のポイント】

- **氷冷箱詰出荷**による鮮度保持、共同選別による品質の均一化を実現。他市場の端境期における**高価格の出荷を可能とし**、関西及び中国地方への販路を拡大。
- **下流域が閉鎖性水域**であることから、**生産者全体でエコファーマーを取得し**、環境保全型農業を展開。安全・安心な農産物の供給を通じて、**農産物の付加価値を向上**。

基盤

区画整理や畑地かんがいの整備によるコストダウンや高収益作物の導入

区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、大型農業機械の導入が可能となり、労力の省力化や生産コストの低減が図られ、収益性の高い作物の導入を実現。



整備後のほ場の状況



散水チューブによる散水状況

基盤整備
(H9年～H21年)

【整備前】

半島地域のため交通の便が悪いうえ、**農地は火山灰性土壌のため保水性が低く、かつ小区画・不整形**であり、道路も未整備のため、大型農業機械の導入が困難であった。加えて、畑地かんがい施設も未整備であり、収益性の高い作物の導入が困難となっていた。



整備前のほ場の状況

【取組地域の概要】

- 位置
うんぜんし
長崎県雲仙市（過疎等）



- 傾斜
・約1/20
- 主要作物
・ブロッコリー、ばれいしょ
- 主な支援施策
・県営畑地帯総合整備事業（H9～H21）
・多面的機能支払交付金（実施中）
・強い農業づくり交付金（H22）

生産現場

エコファーマーの取得による「安全・安心」の産地づくり

- **生産者全体でエコファーマーを取得し**、農業に頼らない生産や共同選別体制の構築により「安全・安心」な評価の向上に取り組む。



加工・流通

流通施設での氷詰め出荷を通じた販路の拡大



低温流通施設での氷詰めによるブロッコリーの出荷状況

- 低温流通施設での氷詰めによる**品質（鮮度）を保持した出荷**を通じて、販路を拡大。

担い手

地域の共同活動による営農の下支え



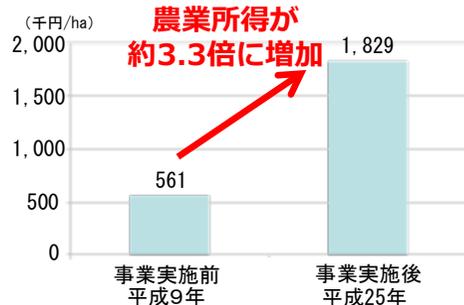
排水路の保全活動状況

- 多面的機能支払に取り組み、地域住民が主体となった共同活動によって営農を下支え。

高収益作物の導入や販路拡大等による1ha当たりの農業所得の向上

- 地域JAによる「雲仙ブロッコリー」の**販売額は平成27年度に6億円を突破**しており、高収益作物の導入や販路拡大を通じて、所得の向上を実現。

山田原地区における農業所得（1ha当たり）の向上



- 農業所得の増（1,268千円/ha）
561千円/ha → 1,829千円/ha

【出典：H26年度 長崎県農村整備課調べ】

【工夫のポイント】

- 担い手への農地集積や経営規模拡大とともに、農業機械の共同利用など**生産コスト低減の取組**も推進。
- **直売所開設**による**地元特産品の消費拡大の取組**を促進し、来場者数、販売額ともに増加。
- 安定した品質・量の出荷による市場評価の高まりを受け、**関西及び中国地方へも販路を拡大**。

【取組地域の概要】

- 位置 いさはやし 長崎県諫早市（急傾斜地帯指定）



- 整備面積：316ha
- 傾斜：平均9.8%
- 主要作物
 - ・馬鈴薯、人参、大根、カーネーション
- 主な支援施策
 - ・県営畑地帯総合整備事業（H8～H23）
 - ・経営構造対策事業（H17・H18）
 - ・多面的機能支払交付金（H19～）

基盤

畑地かんがい施設の整備による 労力の軽減と品質・収量の安定化

畑地かんがい施設の整備や区画整理による農業機械の導入により、かん水等に係る労力の軽減や高収益作物の安定した品質・収量による生産が実現。



基盤整備

（H8年～H23年）

【整備前】

狭小で不整形な畑地が多く、道路も未整備であったため、大型農業機械の導入が困難。また、**用水不足等によって計画的な作付が困難**であり、経営規模拡大の阻害要因となっていた。



生産現場

輪作体系の確立による連作障害の軽減

- 畑地かんがい施設の整備により、自由な水利用が可能となったことで、「ばれいしょ」+「にんじん」又は「だいこん」の**輪作体系が実現し、連作障害を軽減**。
- 共同機械利用組合の設立による**大型農業機械の共同利用**や遠隔操作による**ヘリ防除などの省力化**にも取り組む。



加工・流通

直売所を拠点とした消費拡大への取組

- 選果場の整備によって共販による流通・販売体制を構築。ばれいしょの安定出荷の実績により、高い市場評価を獲得。
- 生産者の所得向上を目的に**有志で直売所を開設**。情報発信を通じて確実に販売額を伸ばすとともに、生産部会が「いさはやポテト元気くん」のブランド名で**関西・中国地方を中心とした更なる販路開拓**にも取り組む。



担い手

担い手の育成と経営規模の拡大

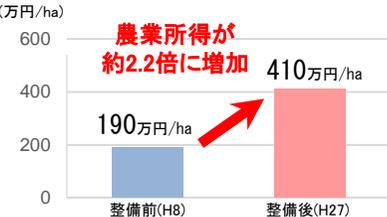
- 営農の効率化により、地区内の担い手55戸のうち、30戸で後継者を確保。**整備後（H26：116ha）の担い手による経営面積は、整備前（H8：64ha）と比較して約1.8倍に拡大**。

生産体制の構築を通じたブランド販売等による1ha当たりの農業所得の向上

- 担い手による経営規模拡大や**安定した販売体制の構築**に取り組むほか、**直売所を中心とした消費拡大への取組**を通じて、**販売額が増加**（直売所の年間来場者数は10万人を超え、平成27年度の販売額は1億円を突破。）
- また、市場評価の高まりを受けた販路拡大によって春作ばれいしょの販売額が増加。**1ha当たりの農業所得の向上に結びついている**。



飯盛地区における農業所得（1ha当たり）の変化（万円/ha）



【出典：長崎県農村整備課試算（生産実績をもとに地区内1ha当たりで算出）】

【工夫のポイント】

- 区画整理、畑地かんがい施設の整備により**地区の約6割を占める耕作放棄地を解消**し、優良農地を創出。
- 安定した品質の作物生産が可能となり、**特産のたまねぎやばれいしょ、きく等の作付が増加**し、産地規模が拡大。
- 土地改良区が主体となり、**地区外からの入植を積極的に受け入れながら、土地利用調整**を行ったことで、担い手への農地集積率は8割を実現。

【取組地域の概要】

○位置 いさはやし
長崎県諫早市



- 主要作物
・たまねぎ、ばれいしょ、にんじん、きく
- 主な支援施策
・県営畑地帯総合整備事業(H20～H27)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・農地中間管理事業(H29～)
・強い農業づくり交付金(H24～)※ハウス建設
・産地パワーアップ事業(H28～)※ハウス建設

基盤

基盤整備による耕作放棄地の解消と優良農地の創出

- 基盤整備により耕作放棄地が優良農地へ変貌。整備後は、大型農業機械の導入及び用水確保等により、**農作業の効率化や高収益作物の安定した生産が実現**。



基盤整備
(H20年～H27年)

【整備前】

狭小で不整形な畑地が多く、**農道・用排水施設も未整備**であったため、効率的な営農ができず**耕作放棄地が年々増加**。

全景

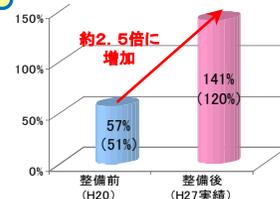


生産現場

高収益作物の生産面積拡大

- 諫早市の特産物である「**たまねぎ**」「**ばれいしょ**」の**作付拡大**と併せ、「きく」や「ほうれんそう」等の**施設園芸の規模も拡大**。
- 地区の東西で「たまねぎ」、「ばれいしょ」と**作物を団地化**することで、**営農の効率化を図る**。

【小豆崎地区の作付率】



()は、うち高収益作物の作付率
【出典：長崎県農村整備課調べ】

担い手の確保と経営規模拡大

- **地区外入植(14経営体)**を積極的に受け入れ、**担い手として、24の経営体を確保**。
- 地権者から利用権の白紙委任を受け、**作物に応じて担い手別に配分**。
- **土地改良区が主体**となって**土地利用調整**を行い、**担い手への農地集積率約8割を実現**。

【担い手農地集積図】



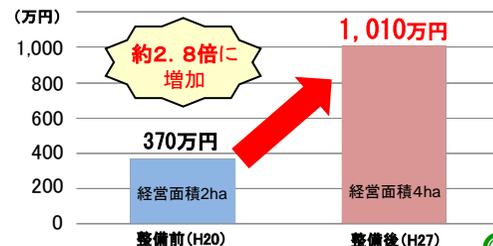
【出典：長崎県農村整備課調べ】

耕作放棄地解消と経営規模・高収益作物の生産拡大による農業所得の向上

- 基盤整備の実施によって耕作放棄地を解消。経営規模の拡大に加え、複数の作物を組み合わせた経営により、**安定的な営農体系が確立され、担い手の農業所得が増加**。
- **地区外からの入植を受け入れることで、地区内農家の栽培技術が向上**するなど取組の発展にも寄与。



【担い手1経営体当たりの平均農業所得】(地区外含む担い手の経営)



【出典：長崎県農村整備課調べ】

※ 農業所得額は作付実績を基にした長崎県農村整備課による推計

【工夫のポイント】

- S50年代の畑地かんがい施設整備により、**葉菜類の生産が拡大**。
- 雲仙普賢岳噴火による降灰のため**葉菜類に壊滅的被害**。耐灰性根菜類への**作付体系に重点化**。
- 老朽化した**施設の更新**と併せて**三会原地域全体の基盤整備構想**を作成し、計画的に実施することで、**児童数が増加**。

高収益作物の生産拡大や収穫機械導入による営農の安定化

畑かん施設の整備により、**高収益作物の作付が拡大**するとともに、**維持管理費が軽減**。また、**区画整理に伴い、機械化が導入され労力が軽減**。

基盤



基盤整備

(H14年～)

【整備前】

県内でも有数の根菜類の産地として発展してきたが、**畑地かんがい施設の老朽化**や**狭小不整形農地による非効率的な営農**を余儀なくされていた。



【取組地域の概要】

- 位置
しまばらし
長崎県島原市(過疎・半島)



- 主要作物
・人参、大根、ほうれんそう、生姜 等
- 主な支援施策
・畑地帯総合土地改良事業(S46～S53)
・畑地帯総合整備事業(H14～H19)【※第1地区】
・農地整備事業(H20～H25)【※第2地区】
・水利施設等保全高度化事業(H24～H34)【※第3～第4地区】

生産・出荷体制の強化

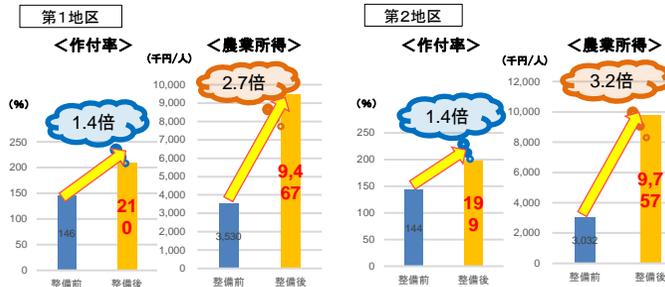
- 大根・にんじん収穫機等の導入により、**大幅な労力削減を実現**。また、生産量の増加に伴い、**処理能力の高い洗浄・選果施設の整備**や、生産部会員による**播種時期の調整**により**「定時・定量・定質」出荷体制を確立**。

生産現場

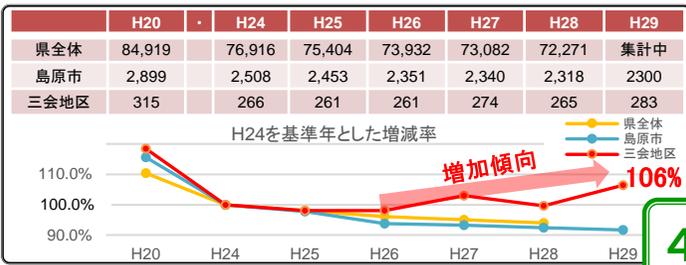


「儲かる農業」の実現による地域創生・継承

- 地区内の作付率が**1.4倍**、農業所得が**2.7倍～3.2倍**に増加。



- 地域小学校や保育園の**児童数は増加傾向**。農業が基幹産業である島原市の**合計特殊出生率も2.0人(H28)**を上回り、**継続地区における今後の効果も期待される**。



地域の担い手の育成

担い手

- 本地区の**113戸/338戸(約1/3)**に**後継者がおり**、**基盤整備**によって**営農環境が整ったこと**で、**地域の若者が生活し、働ける「魅力ある就業の場」としての役割も担っている**。

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機として高収益作物の作付を拡大。
- 共同で白ネギの育苗管理を行うなど県内唯一の白ネギ産地として生産体制を強化するとともに、周年栽培の実現により市場からも高評価。
- 新規就農者を含む地域の担い手も確実に育成されたことで、地域活動も活発化。

【取組地域の概要】

○位置 うんぜんし
長崎県雲仙市（過疎・半島）



- 主要作物
・白ネギ、ブロッコリー、人参 等
- 主な支援施策
・農地整備事業（H23～H29）
・雲仙市提案型農業パワーアップ対策事業（H18）
・強い農業づくり交付金（H24）

収穫機械導入や高収益作物の生産拡大による営農の安定化

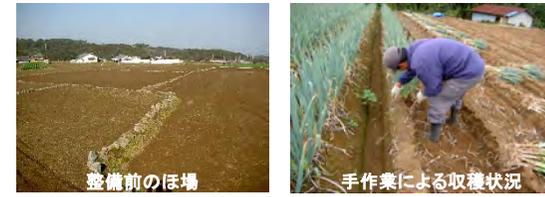
基盤整備の実施により高収益作物の面積拡大が図られ、更には機械化による営農の省力化を実現。



基盤整備
(H23年～H29年)

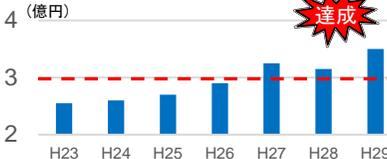
【整備前】

雲仙ブランド認定商品である「八斗木白葱」の産地であるが、農地は狭小・不整形でかん水施設もなく非効率的な営農を余儀なくされていた。



安定した白ネギ生産体制の確立

○ 白ネギの共同育苗施設（ハウス）の建設により部会員による集中管理が可能となり、安定した品質の白ネギ周年栽培を実現。



年間3億円の販売目標をH27より3カ年連続で達成！

生産現場

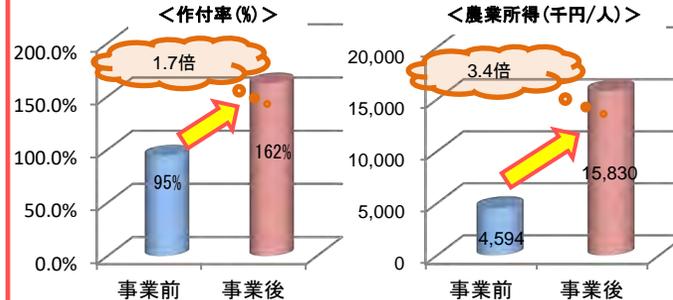
地域の担い手の育成

- 基盤整備により営農条件が改善され、所得向上が見込まれることから、5名の新規就農者も生まれるなど地域を担う後継者も育成。
- 恵まれた営農環境であることもあり、後継者以外の次男・三男も古里に残り農業を営むなど地域への愛着も醸成。

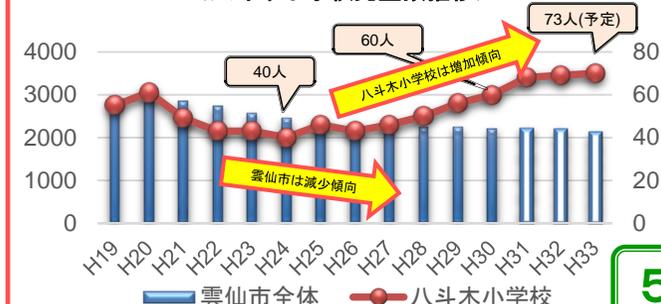
担い手

儲かる農業の確立により児童数も増加

○ 地区内の作付率が1.7倍、農業所得3.4倍に増加。関係小学校の児童数が40人(H24)→60人(H30)に増加。



＜八斗木小学校児童数推移＞



【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機として、**荒廃した農地を解消**するとともに、**レタスやだいこんなど高収益作物を導入・拡大**。
- 隣接基盤整備地域と一体となった野菜産地の形成により**農業経営の安定と地域活力の再生**。
- 地元小学校の総合学習と連携することで**地域の魅力を継承**。

【取組地域の概要】

- 位置 しまばらし
長崎県島原市(過疎・半島)



- 主要作物
・レタス、だいこん、人参、ブロッコリー 等
- 主な支援施策
・耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業 (H22~H28)

基盤

耕作放棄地の解消とかんがい施設の整備による高収益作物の生産拡大

区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、**高収益作物の作付拡大**が図られるとともに、**機械化による営農の省力化**を実現。



基盤整備 (H22年~H28年)

【整備前】

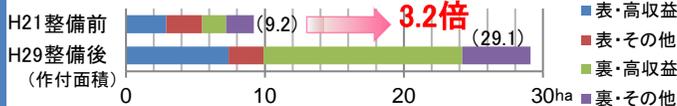
傾斜地の台地に形成された農地は狭小不整形で道水路も**未整備**な上、雲仙普賢岳の噴火災害による立入り規制で地区の**約3割の農地が荒廃化**し**農家の労働意欲減退**が進んでいた。



生産現場

高収益作物導入による耕地利用率の大幅な増

- 整備前の**耕地利用率53%**から整備後は高収益作物の導入促進により**利用率は3倍増**とフル回転。



地域の取組

地域の荒廃化(後退)防止に向けた活動

- 地域資源の保全と**鳥獣被害防止対策**のため、捕獲隊(受益者を中心に10名)を設立し捕獲や見回り・点検などの活動実施。
- 多面的機能支払交付金を活用し地域ぐるみで**施設や地域環境を良好な状態**に保全。



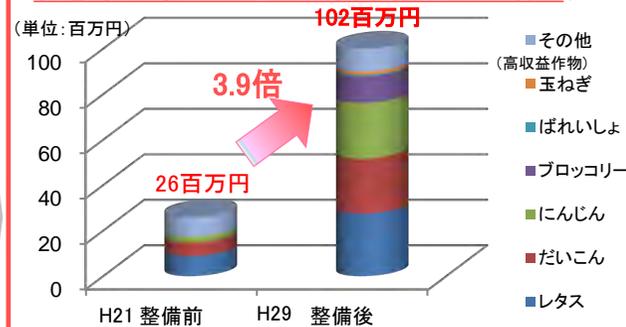
宇土山農地探検隊により地域の魅力を継承

- 噴火災害からの復興と農地再生について、地域の小学校の総合学習の一環として地元農家と一緒に取組み、**子どもたちの愛郷心を育む活動**を実施。



農地をフル活用し高収益作物で農業生産額の増

- 基盤整備と担い手育成、JAを含めた営農・販売・流通をパッケージ化し、レタス、だいこん、にんじん、ブロッコリー、ばれいしょ等の**高収益作物を導入・拡大**し**地域の農業生産額が増加**。



近隣地区と一体となった生産・出荷体制の強化

- 隣接する基盤整備実施地区と一体となった産地形成により、JAが処理能力の高い**洗浄・選果施設を整備**し生産・出荷体制を強化。



【工夫のポイント】

- 基盤整備実施後、排水性が大幅に改善。**高収益作物の導入により、農業生産額が向上。**
- 事業を契機に農事組合法人を設立。**9割以上を法人へ集積**し、地域農業が活性化。
- JAとの契約栽培により、**安定的な法人経営**を確立。壱岐焼酎の原料となる**二条大麦の安定供給**に寄与。

【取組地域の概要】

- 位置
いさし
長崎県壱岐市(離島)



- 主要作物
・水稲、麦、たまねぎ、葉たばこ

- 主な支援施策
・県営農地整備事業(経営体育成型)
(H21~H29)

農地の大区画化が実現し湛水被害も解消

ほ場整備による大区画化・客土と併せ二級河川の改修を実施。排水不良も改善され、**大型農機の導入**が可能となり、**高収益作物の作付け**も実現。



基盤整備

(H21年~H29年)

【整備前】

低平地で湿田が多いうえ、豪雨時は河川が氾濫して農地が湛水するなど、**非効率な営農**を余儀なくされていた。



基盤整備を契機に農業生産法人を設立

- 将来にわたって農地を維持・継承するため、**集落ぐるみの営農**を検討。
- 基盤整備を契機として、**農事組合法人「刈田院」を設立**(平成27年8月)し、地区内農地の約9割以上を集積。



担い手

生産コストの削減と安定的な農業経営

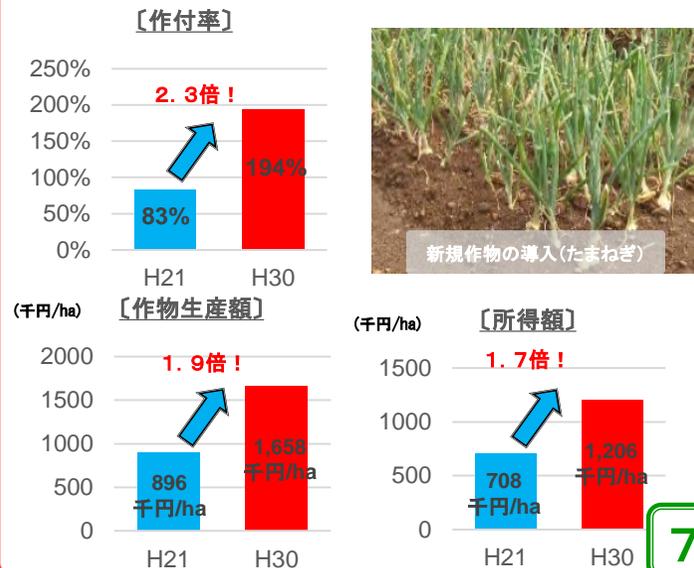
- 大型機械の導入による**効率的な生産体制**を確立。また、事業にて休憩所・トイレを整備し、**安心して快適な労働環境**を確保。
- 特産品である壱岐焼酎の原料となる**二条大麦の契約栽培**により、**安定的な農業経営**が実現。



生産現場

営農環境の大幅な改善により収益が向上

- 基盤整備により営農条件の改善が図られ、本地区における**大麦や玉ねぎの作付率が向上**。また、高収益作物の導入により**生産額や農業所得額が増加**。
- 排水不良の改善により、園芸品目の導入も可能に。



【対策のポイント】

- 区画整理により、ほ場の大区画化や道路が整備されたことで機械の大型化が進み農作業の効率化を実現。
- 畑地かんがいの整備によりかん水が可能となり、高収益作物の品質向上や収量増等の生産性向上を実現。
- 基盤整備により、高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進。

【取組地区の概要】

○位置

うんぜんし
長崎県雲仙市



やまだばらだいに
山田原第2地区

○事業名

畑地帯総合整備事業(H24~R3)

○主要作物

ブロッコリー、ばれいしょ

○受益面積 55.4ha

○主要工事

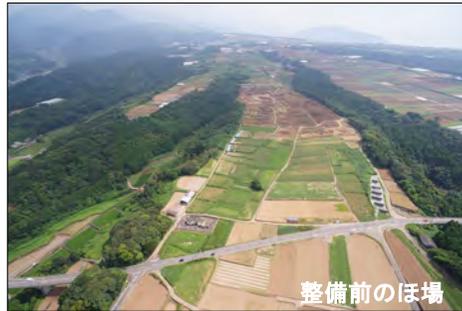
区画整理 A=55.3ha

畑地かんがいA=55.4ha

区画整理とかんがい施設の整備

- 現況ほ場が狭小、不整形で道路も未整備であり、大型農業機械の導入ができず、担い手農家の経営規模拡大が停滞。
- 区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、大型農業機械の導入が可能となり、省力化や生産コストの低減が図られ、収益性の高い作物への転換が実現。また、営農効率の向上により担い手への農地集積が進み規模拡大が実現。

基盤



基盤整備

(H24~R3)



ブロッコリーの販路拡大に向けて

- 低温流通施設での氷詰めによる品質(鮮度)を保持した出荷を通じて関西及び関東等へ販路を拡大。
- 規模拡大、高品質、長期安定出荷を実現し、令和元年天皇杯(園芸部門)受賞。

地域の取組



高収益作物の作付け拡大

- 作物生産額に占める高収益作物の割合は96%。
- 基盤整備の進捗と共にブロッコリーの生産量が増加し一大産地を形成。

対策の効果

高収益作物の生産額の推移

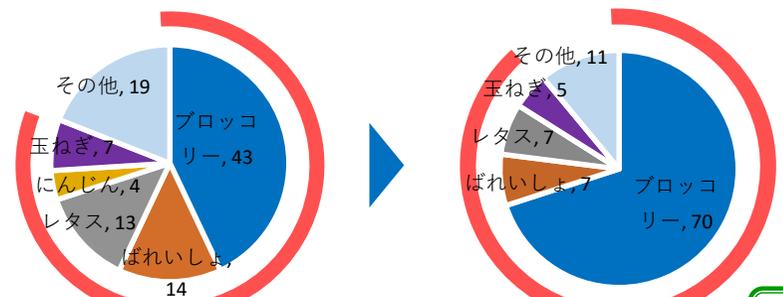
約1.01倍増加

171,674 → 173,273

実施前

実施後(R3)

作付面積に占める高収益作物の割合



実施前: 81%

実施後: 89%

【工夫のポイント】

- かんがい施設の整備によりマルドリ方式の導入が図られ、**安定したかん水制御により、収量増やブランド率向上**を実現。
- JAながさき西海を中心に、かんがい施設を利用した**スマート農業技術の実証プロジェクト**へ取り組む。
- 小規模な園内道や防風ネット整備、共同トイレの設置等、**営農条件の改善と向上**を実施。

【取組地域の概要】

○位置 させぼし
長崎県佐世保市



○主要作物
・みかん

- 主な支援施策
- ・県営畑地帯総合整備事業 (H27～)
 - ・果樹経営支援対策事業 (実施中)
 - ・スマート農業技術の開発・実証プロジェクト (R2～R3)

基盤

かんがい施設の整備による 労力の軽減と品質・収量の安定化

かんがい施設の整備により、かん水に係る**労力の軽減**やきめ細かな肥培管理によるみかんの**品質・収量の安定化**が図られ、**経営が安定化**。



基盤整備

(H27年～)

【整備前】

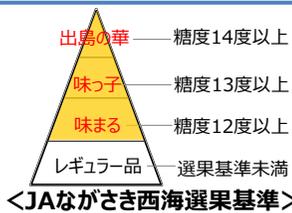
不安定な天水に依存し、**干ばつ時などに用水不足**が発生。近隣井戸からのくみ取りによる防除、夏場のマルチシートの張り剥しに**多大な労力**。



生産現場

マルドリ方式でブランド化を促進

- マルドリ方式※によりみかんの平均糖度が12.8度から13.2度に上昇。「味まる」の5%程度が「味っ子」になるなど**ブランド率が向上**し、**収量の安定化**に寄与。
- 果樹経営支援対策事業を活用し、**小規模な園内道や防風ネット**等を整備して営農条件を改善。
※マルドリ方式:周年マルチ点滴灌水同時施肥法



地域の取組

西海型マルドリ栽培の実証

- JAながさき西海が中心となり、基盤整備地区内で、**スマートフォンでかん水を制御**し、品質向上等に向け、**生産管理システム**のスマート化の実証に取り組む。

西海型マルドリ栽培の実証



担い手

担い手への農地集積の促進

- 地区面積の**85%以上**を担い手**18人**に集積。
- 共同トイレ等を整備し、みかん収穫時の雇用労働者等の**営農環境を改善**。



基盤整備と地域の取組が一体となった収益力の向上

- かんがい施設整備により**反収が2,632kg/10a⇒3,027kg/10a**に増加し、**農業所得が18%増加**。
- **ブランド化の取組**により平成28年度に「**天皇杯**」を受賞。



- マルドリと自動かん水装置付液肥混入器導入により**作業時間を削減**。

